

令和3年度 第一回長野市青少年健全育成審議会議事録（要旨）

- 1 日 時 令和3年7月14日（水）午前10時から正午まで
- 2 場 所 長野市青少年錬成センター（大字山田中2100）
- 3 出席者 委員11名、事務局8名
- 4 次 第

- (1) 開 会
- (2) 委員の委嘱
- (3) 教育次長あいさつ
- (4) 自己紹介
- (5) 会長及び副会長選出
- (6) 会長あいさつ
- (7) 議 事（議事進行 会長）

ア 報 告

- (ア) 家庭・地域学びの課（青少年担当）の事業について
- (イ) 少年育成センターの事業について
- (ウ) 少年科学センターについて

イ 視 察（長野市青少年錬成センター）

- (8) その他
- (9) 閉 会

5 会議録

(1) 教育次長あいさつ

令和3年度第一回長野市青少年健全育成審議会の開催にあたり、長野市教育委員会を代表して、あいさつを申し上げます。

さて、新型コロナウイルスについては、本年5月29日からアークスホール他2カ所をかわきりに、高齢者の集団接種が始まった。また、7月11日からは64歳以下の基礎疾患を持っている方への接種も始まり、市内医療機関において一般接種も実施している。教育委員会としても、三密を避け、人と人との距離を確保する、人と会話をする際はマスクの着用をするなど、基本的な感染防止対策をなお一層徹底しながら、青少年の健全育成等に取り組んでまいりたい。

ご存じのとおり、現代は、急速に少子化が進み、また、核家族化や地域との関わりが希薄になる等、家庭や地域の形が大きく変わってきている。

そのような状況の中、青少年健全育成審議会の委員の意見をいただきながら、時代の変化に応じた青少年健全育成事業を進めているところである。

今やインターネットをはじめとする情報通信網は世界に無くてはならないものになっており、それに伴い、情報通信機器が急速に普及している。これらは、適切に使えば非常に有用なものだが、一方で、青少年とネットの関わりにおいて、様々な問題が生じているのも事実。

学校現場においても情報モラル教育を行うなど、取り組んでいるが、引き続き家庭でのネット利用のルール化をはじめとする保護者の理解、地域や事業者の理解、そして連携がますます重要になっていくと考えている。

本日は、任期満了に伴う審議委員改選後の最初の審議会である。まずは、青少年健全育成施設である、この長野市青少年錬成センターで審議会を開催し、後程視察いただく。

今後とも、本市の青少年健全育成に、委員のより一層の支援、協力をお願い申し上げ、簡単ではあるがあいさつとする。

(2) 会長挨拶

今年はコロナ対応で大変な日々を過ごしてきた。先日は大学入学共通テストがあり、私も神経を尖らし、慌ただしく対応をした。日々やることは多い中、青少年の問題はコロナ禍があっても待つてはくれない。ましてや、家で過ごす時間が増え、ICTに触れる機会が増え、他方ではヘイトスピーチに関する問題も懸念される。コロナ禍によりICT化が進み、いい面もある反面、悪質な業者も出てきている。そういう意味でも本日のテーマにふさわしい研修で意見を交換していきたい。本日はよろしくお願ひしたい。

(3) 議 事

ア 報 告

(ア) 家庭・地域学びの課（青少年担当）について

(説明：事務局)

(資料：令和2年度家庭・地域学びの課（青少年担当）の主な事業実施状況及び令和3年度事業計画)

- ・リーダーの育成、指導者団体（長野シニアリーダーズクラブ、成人指導者の会、動く子ども広場「すこやか号」）について
- ・長野市青少年健全育成審議会、青少年健全育成行事、青少年健全育成事業（子どもわくわく体験事業補助金）、家庭教育力向上（家庭教育講座等）について

(イ) 少年育成センターについて

(説明：事務局)

(資料：令和2年度少年育成センター事業実施状況及び令和3年度事業計画)

- ・巡回指導活動、長野市青少年保護育成条約に関すること、少年相談活動、広報・啓発活動、研修活動、出前講座について

(ウ) 少年科学センターについて

(説明：事務局)

(資料：城山公園ふれあいの森再整備プロジェクト、(仮称)ながのこども館整備事業に関するアンケート結果について)

- ・本館の設置目的と現状
- ・基本構想策定時のパブリックコメント
- ・個別施設計画との兼ね合い
- ・城山動物園の課題
- ・(仮称)ながのこども館へと転換により、駐車台数の増加と、天候や季節に係らず遊べる環境を提供

■質疑応答

(委員)

コロナの影響で、実施回数や参加者が非常に少なく、これを基準にして考えてはいけないと思うが、例えば子ども会のリーダーについて言うと、長野市の場合どれくらいいるのが理想なのかお聞きしたい。リーダーの数を見ると、数が増えにくい環境と感じた。今どきの子どもはすごく忙しく、習い事や塾がいろいろあり、こういったリーダーになれないのが現状。私も実はボーイスカウトに関わっていたが、部活とかがあって人数が減ってしまい、なかなか出られないという実情があった。時代が大きく変わり、どのくらいの数のリーダーがいたらいいのか見えてこない。

併せて、地域の学童保育に対して市の補助や施策はどうなっているのか。

また、巡回指導では、有害図書と言っているが、中学生とか高校生とかは多分ネット上でそういう情報が届いていると思う。ゆえに、コンビニにも自動販売機にも当然ないわけで、時代が変わってきている。上田地域で少年補導員が巡回しているが、巡回する前にお店に「これから行きます」と連絡してから行くので実態が全く見えないと思う。そういうところには、ほとんど問題傾向のある子どもがいない。やはり、SNSとかネット上での不良行為が今では普通になっているので、時代を追いかけるような対応をしていると、ものすごく形骸化したものになってしまう。

(事務局)

リーダーについては、本当は各地区にそういう子どもが1人いて、活動をリードしてくれれば理想的だが、実際のところは、子どもたちもなかなか忙しく、シニアリーダーは現在、高校1年が中心になっているが、3年生になると受験があって活動しにくい状況にある。ただ、地区も学校も越えて集まった子どもたちが交流しながら自分自身を高めていくという一面もあり、地域でもリーダーの会に参加すると自分のためにもなるし地域のためにもなるということで、リーダーの会の紹介をしていきたいと思っている。リーダーは地域の

推薦という形もあるが、ほとんどは友だち繋がりメンバーが集まっている。毎週水曜日の夕方リーダーの研修会をやっているが、その内容は地域から派遣要請があったらどういうことをやればいいのか、ということ自分たちで考えて行っている。去年と今年はコロナの関係で派遣要請は少なくなってしまい、活動が制限されていることをすごく残念がっている。我々としては、リーダーの役割や成果などを各地区の住民自治協議会や地域の方にもお知らせしながら、一方でリーダーに活動の場を提供していくこととしていきたいと思っている。

学童保育への補助は担当部署が違いすぐに答えられない。次回の会議で報告したい。

(事務局)

市内の全てのコンビニは、昨年の8月以降オリンピックを迎えるということもあり有害図書は置かないということになっている。1年が経過したが、現状はアダルト雑誌のコナーは設置してないものの、心配なものとして、例えば全体の2割以上が露骨な表現というものがある。店長に会い、考えていただけないか話をしている。幼い子どもたち、小中高生も使うコンビニや商店でもそういう部分があるということを知る必要がある。それから、先ほど上田での少年補導員の活動において、子どもや青少年の姿が街中でほとんど見られないという話があったが、長野市も同じような問題がある。以前から、巡回指導の時間帯では子どもや青少年の遊ぶ姿や問題となる行動がほとんど見受けられないということがあった。今の少年育成の問題が、目に見えにくいネット世界に入り込んでいることも影響しているという認識を持つことが大切だと思う。これについては、各地区の住民自治協議会の研修会や小中学校への出前講座を通し、「至る所で犯罪は起きているし、続いている。目に見えにくくなっているだけ」という啓発活動を行っている。出前講座については、3年目になるが、昨年はコロナ禍の影響で、全体で20件に留まったが、その前は60件弱あり、ニーズがたくさんあった。ネットに関しては、楽しくて便利な世界もあるが、非常に怖い世界もあるということ話をしてきた。

(委員)

少し変な質問かもしれないが、リーダー研修会に参加する人数が少なくなってきている中、中学生や高校生でリーダー研修に参加しているというと、周囲の友だちから何か変わったことをしていると変に見られるようなことがないのか、ということが一つ気になり。

それと、リーダーたちの活動の様子を、我々が研修会の場に行ってみ学することはできるのか。

(事務局)

リーダーの子たちが地域の方や他の方から何か言われる、ということはない。地域の方からすれば、派遣されたリーダーに支援をしてもらっているわけで、リーダーの活動につ

いては深いご理解をいただいている。もし希望があれば、毎週水曜日、午後5時過ぎから定例会をやっているの、何か地域の活動に役立てるものがあるのではないかと見てもらい、派遣要請があればそれがリーダーたちの希望でもあるわけで、事前に連絡して見学してほしい。

(委員)

ネット利用については問題も多いため、各家庭でのルールづくりが大切ということだが、具体的にどういうルールを作って、それがどううまくいったかとか、これがよくなかったかとか、保護者間で情報交換する場があるのか現状を聞きたい。

(事務局)

長野市PTA連合会主催の研修会でフィルタリング含めた事例を紹介した。また、育成センターでは、家庭でのルール作りについて冊子を作り紹介している。最近のフィルタリングは、時間、サイト、キャリア、ステージに応じての設定など細かくなっている。今一番問題として感じているのは、実際の当事者や保護者、学校の先生へ情報が届いておらず、効果も上がっていない。一例を挙げると、実際に性被害にあった被害者がフィルタリングを使っていなかったという事例がある。この事例は8割を超えている。平成29年以降、業者はスマートフォンを使う人が誰かを確認した上で、未成年者には必ずフィルタリングの説明をし、セッティングをすることになっている。そして、その機能等について十分説明をするという法律までできている。それにもかかわらず、8割以上が知らなかった、あるいはそれを使っていない。一番大事に伝えるべきことが十分伝わっていないということが問題である。